

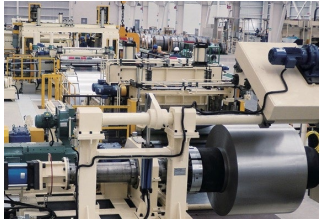


住友商事東北株式会社

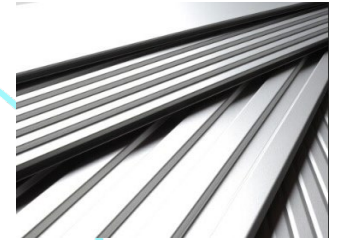
会社案内

住友商事東北のモットー

～ 東北とともに、東北のために～



当社は2003年に住友商事の**東北・新潟地区**の地域展開を担う総合商社として発足して以来、“**東北とともに、東北のために**”をモットーに、住友商事グループの総合力・グローバルネットワークを活用した全国展開を行っています。



私たちは、「信用」と「信頼」を基本に常に変化を先取りして新たな価値を創造し、広く地域に貢献する企業で在り続けたいと思っています。



社長挨拶



住友商事東北株式会社は、2003年に住友商事の東北地区の事業を担う総合商社として発足しました。以来、“東北とともに、東北のために”をモットーに、地域の豊かな将来に向けて貢献できるよう活動しています。

2011年の東日本大震災は、当地に大きな爪痕を残しましたが、東北の豊かな自然と地元を愛する多くの人の力により、確実に復興が進んでいます。

当社では、住友商事グループの総合力とグローバルネットワークを活かし、地域社会の明るい未来を創る企業であり続けたいと思っています。

 **住友商事東北株式会社**
取締役社長 遠藤 圭弥

住友商事東北について

会社名	住友商事東北株式会社 (Sumitomo Corporation Tohoku Co., Ltd.)
設立年月日	2003年4月1日
代表者	取締役社長 遠藤 圭弥
資本金	4億9千万円
株主	住友商事株式会社100%
営業目的	総合商社
従業員数	41名(2023年6月末時点)
事業内容	金属、機電、エネルギー、農水産、化学品、建築資材、他
取引銀行	三井住友銀行東京営業部
所在地	本社 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目10番3号 (JMFビル仙台01 15F)
営業所	新潟営業所 〒950-0087 新潟市中央区東大通1丁目2番30号 (第3マルカビル 10F)



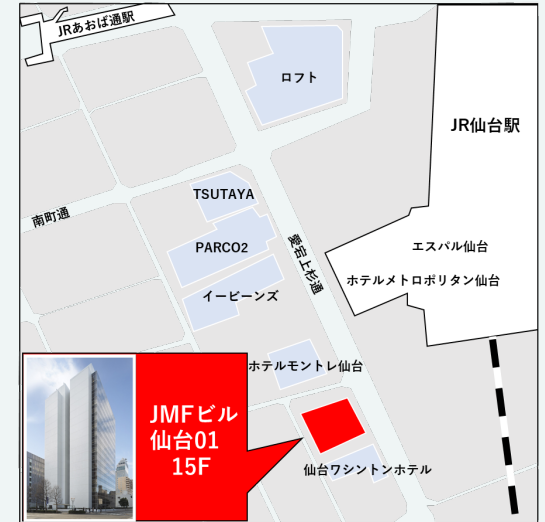
住友商事東北株式会社 (JMFビル仙台01)

沿革・アクセス

沿革	
1946年 1月	住友商事(株)仙台出張所開設
1958年 3月	仙台出張所より仙台支店へ改称
1987年 7月	仙台支店より東北支店へ改称
1992年 4月	東北支店より東北支社へ改称
2003年 4月	住友商事株式会社東北支社を分社化。 住商マシネックス東北株式会社・住商鉄鋼販売株式会社東北支店を吸収統合。 住友商事東北(株)を設立。 新潟営業所を開設。

<本社>

〒980-0021
 仙台市青葉区中央4丁目10-3
 JMFビル仙台01 15F
 TEL:022-262-6232
 FAX:022-267-0101



<新潟営業所>

〒950-0087
 新潟市中央区東大通1丁目2番30号
 第3マルカビル 10F
 TEL:025-240-1171
 FAX:025-240-1180



経営理念・行動指針

住友商事グループの価値判断のよりどころは、「住友商事グループの経営理念・行動指針」にあります。

住友商事グループの「経営理念」は、住友約400年の歴史に培われた「住友の事業精神」をベースに、今日のかつグローバルな視点を加えて、平易かつ体系的に整理し直したものです。

「行動指針」は、経営理念を実現するための企業および役員・社員の日常の行動の在り方を定めたガイドラインです。

目指すべき企業像

私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します。

経営理念

〈企業使命〉健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する。
〈経営姿勢〉人間尊重を基本とし、信用を重んじ確実を旨とする。
〈企業文化〉活かに溢れ、革新を生み出す企業風土を醸成する。

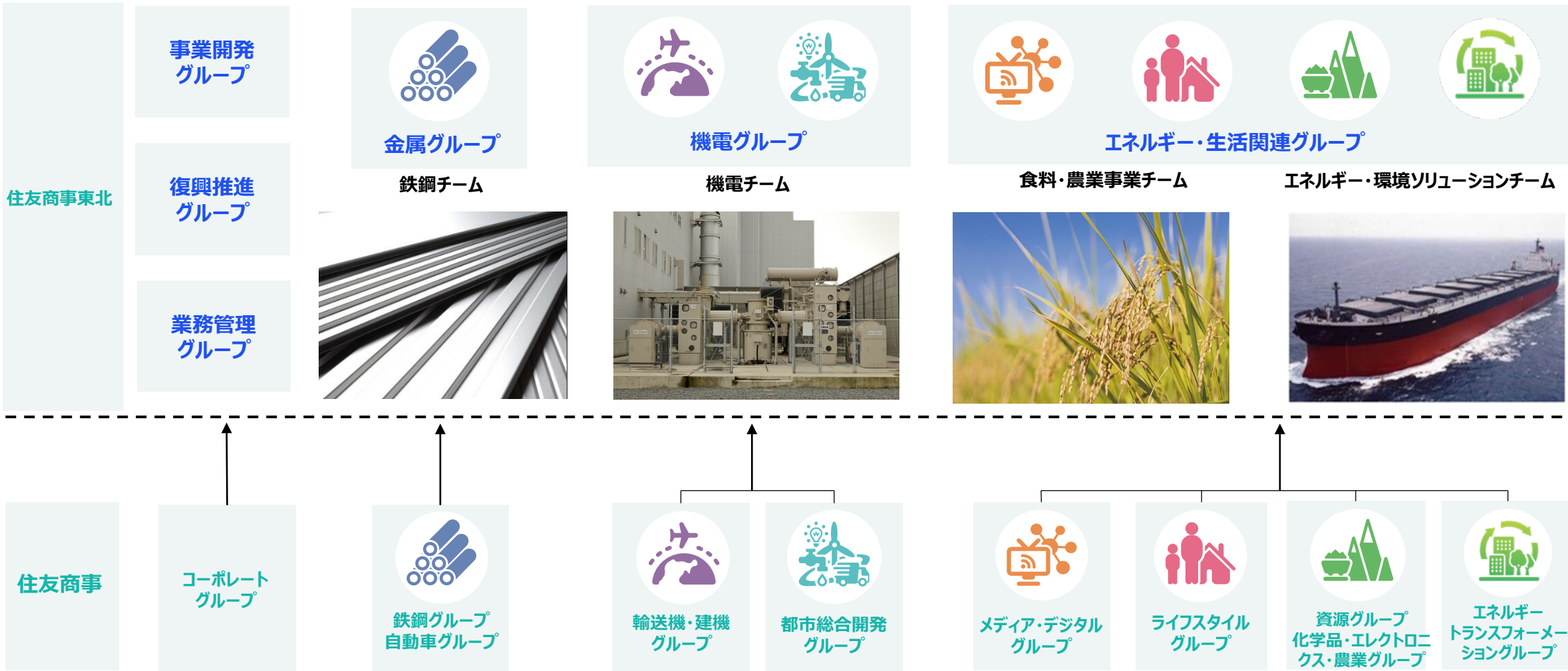
行動指針

- 住友の事業精神のもと、経営理念に従い、誠実に行動する。
- 法と規則を守り、高潔な倫理を保持する。
- 透明性を重視し、情報開示を積極的に行う。
- 地球環境の保全に十分配慮する。
- 良き企業市民として社会に貢献する。
- 円滑なコミュニケーションを通じ、チームワークと総合力を発揮する。
- 明確な目標を掲げ、情熱をもって実行する。

事業概要

グローバルに広がる強固なビジネス基盤と多様で高度な機能を連携、新たな価値を創造していきます

事業グループ紹介



金属グループ

● 鉄鋼チーム

製造業向けの金属製品(鉄鋼、ステンレス、非鉄金属)の供給を通じ東北地区の産業発展への貢献を目指しています。

取引先の課題に寄り添い用途開発や販路拡大のサポート、住友商事グループの総合力を活かしたカーボンニュートラル等の提案にも取り組んでいます。



風力発電用鋼材



コイルセンターでの切断加工



金属外壁等の最終製品へ

取扱い商品

【アイジー工業製品】金属サイディング・ルーフ、サンドイッチパネル

【鋼板】薄板全般、カラー鋼板、厚板全般

【ステンレス】丸棒、型鋼、鋼板

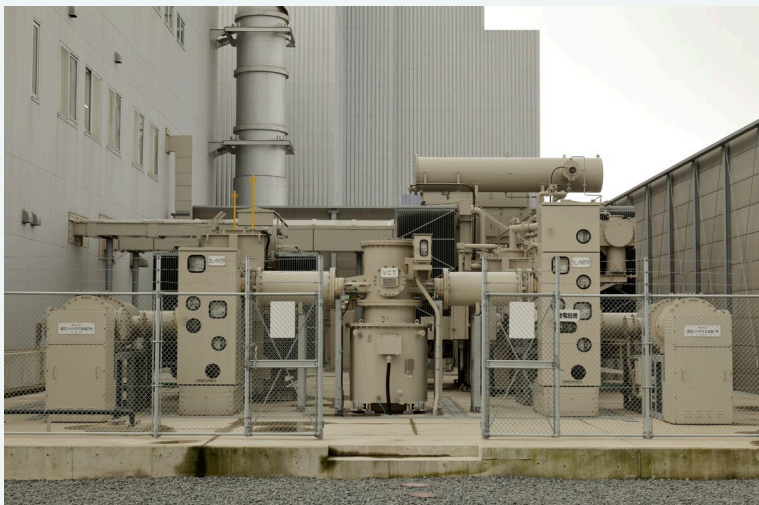
【非鉄金属全般】アルミ(丸棒、型鋼、鋼板)、アルミライナー紙、伸銅品、その他合金類

【断熱材】ロックウール

機電グループ

● 機電チーム

工場向け生産設備やユーティリティ設備、空調等の各種建設用設備のほか鉄道車両用部品等の販売を行っています。
再生可能エネルギー事業や脱カーボン社会に向けた取り組みを通じて、環境負荷の低減、地域社会への貢献を目指しています。



受変電設備



仙台市地下鉄3000系台車



被災地域（南相馬市）における太陽光発電

取扱い商品

鉄道用車両、鉄道施設用品並びにそれらの部品、情報機器、電気計測機器、蓄電池、圧縮空気製造、運搬機械器具、製鉄機械、計測器、測定器、分析器、試験機、工作及びそれらの部品、電線、ケーブル、受変電設備、電動機、照明機器、防災機器、監視制御機器、工作機械器具、ボイラー、消防用機械器具、空調機械器具、衛生設備機器、昇降機、立体駐車場およびそれらの部品、発電設備、蓄電池設備、太陽光発電システム

エネルギー生活関連グループ

●エネルギー・環境ソリューションチーム

電力会社向け天然ガス・石炭等発電用燃料トレードを通じて東北地方のエネルギー産業の一端を担うと共に、住友商事と一体となり脱炭素に資する商材の取扱模索（水素等次世代燃料）や、ブルーカーボンと呼ばれる海藻による炭素海底貯留の実証を行い、地域のSDGs活動に貢献して行きます。

●食料・農業事業チーム

米穀のトレード、農業現場の課題解決を通じて、持続可能な農業を実現し、日本の食料安全保障に貢献していきます。



発電用燃料輸送タンカー



収穫直前の稲



ドローンによる農業散布

取扱い商品

天然ガス、石炭、石油等各種発電用燃料、軽油等民生用燃料、産業用ガス、石灰石、炭酸カルシウム、再生可能エネルギーを含むエネルギー関連商品、ウレタン樹脂、電線用被覆材、薬品類その他化学品関連商品、及び脱炭素関連商品、米穀(主食米、加工米、飼料米、備蓄米、米粉用米、輸出米)や大豆等穀類、米粉、飼料原料、飼料副原料、飼料添加物、水稻種子、肥料、土壌改良剤、農業資材、ガラス、塗料、重防食鉄骨塗料、サッシ、杭、その他土木建築関連資機材、その他の生活関連商品、環境関連商品及び資機材・商品販売推進業務

業務管理グループ

● 財務・人事総務チーム ● 経理・審査チーム

経理、審査、人事、財務、総務、経営戦略策定など

営業部門のサポート機能としての役割を果たし、「豊かさと夢の実現」へ向けて取り組んでいます。



復興推進グループ

主に、気仙沼市にある鹿折加工協同組合に対する様々な復興支援活動を通じて、東北地方の震災復興支援・推進に取り組んでいます。



事業開発グループ

チャレンジを恐れない、新たな可能性の追求・ビジネスチャンスの創出によって、地域課題の解決や競争力強化、組織の成長を担っています。



住友商事グループとして

住友商事グループについて紹介します

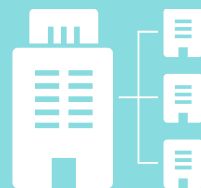
数字で見る住友商事

(2023年3月31日現在)

株主資本
(親会社の所有者に帰属する持分)
3.8兆円



連結対象会社数
886社



社員数 (連結ベース)
78,235人



連結子会社 : 636社 (日本135社 海外501社)
持分法適用会社 : 250社 (日本50社 海外200社)

企業評価

Fortune
Global **500**

世界の発展を牽引するグローバルカンパニーの1社として、
米フォーチュン誌の選出するFortune Global 500に28年間選出されています。

国際会計基準 (IFRS) に基づく

グローバルネットワーク

(2023年3月31日現在)

事業所数

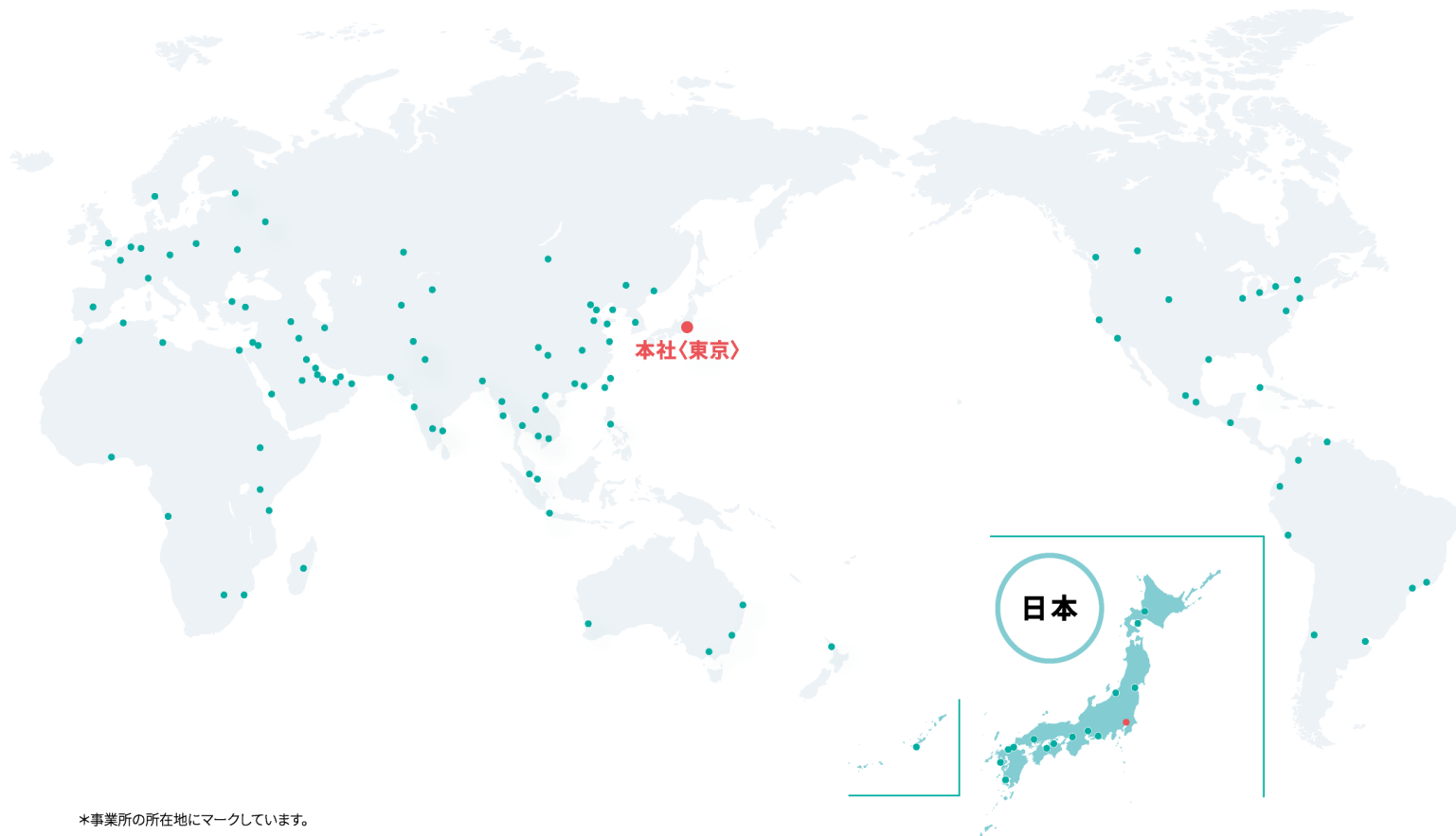
129拠点

66カ国・地域

連結対象会社数

886社

78カ国・地域



*事業所の所在地にマークしています。

住友商事グループの6つのマテリアリティ（重要課題）

社会課題の解決に向けて企業の果たす役割への期待や、環境・社会・ガバナンス（ESG）の側面が企業の評価や投資行動につながる機運が高まる中、住友の事業精神、住友商事グループの経営理念を踏まえ、事業活動を通じて、自らの強みを生かして優先的に取り組むべき課題を、「社会とともに持続的に成長するための6つのマテリアリティ（重要課題）」として特定しています。

グローバルに広がる顧客・パートナーとの信頼関係とビジネスノウハウを活用し、健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現するという企業使命を果たすことで、**当社の成長と社会課題の解決を両立していきます。**



地球環境との共生

循環型社会の形成と気候変動の緩和を目指し、資源の有効利用や再生可能エネルギーの安定供給に向けた仕組みづくりに取り組むことで、地球環境と共生した成長を実現します。



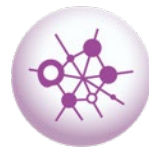
地域と産業の発展への貢献

さまざまな国や地域の人々のニーズに応じてモノやサービスを安定的に調達・供給し、産業のプラットフォームづくりに貢献することで、地域社会とともに成長・発展する好循環を生み出します。



快適で心躍る暮らしの基盤づくり

毎日の生活に必要なモノやサービスを提供してより便利で快適な暮らしを実現するとともに、質の高い暮らしへのニーズにも応えていくことで、全ての人々の心と体の健康を支えます。



多様なアクセスの構築

人・モノが安全かつ効率的に行き交うモビリティを高め、情報・資金をつなぐネットワークを拡大することで、多様なアクセスを構築し、新たな価値が生まれる可能性を広げます。

上記の課題を解決するための基盤として、人間尊重や信用・確実といった経営姿勢と、活力に溢れ革新を生み出す企業風土のたゆまぬ維持向上に努めています。



人材育成とダイバーシティの推進

多様なバックグラウンドを有する人材が、各々のフィールドで能力を最大限に発揮して、新たな価値や革新を生み出せるように、最重要の経営リソースである人材の育成・活躍推進に取り組みます。



ガバナンスの充実

透明性を確保しつつ、持続的な成長に向けた戦略の立案・実行およびその適切な監督を充実させることで、経営の効率性を向上し、健全性を維持します。

6つの重要社会課題の設定と、サステナビリティ経営の高度化（1/2）

住友商事グループは、社会とともに持続的に成長するために、サステナビリティ経営の高度化の一環として、当社に関わりが深い6つの重要社会課題を選び、それにひも付く長期目標・中期目標を定めています。

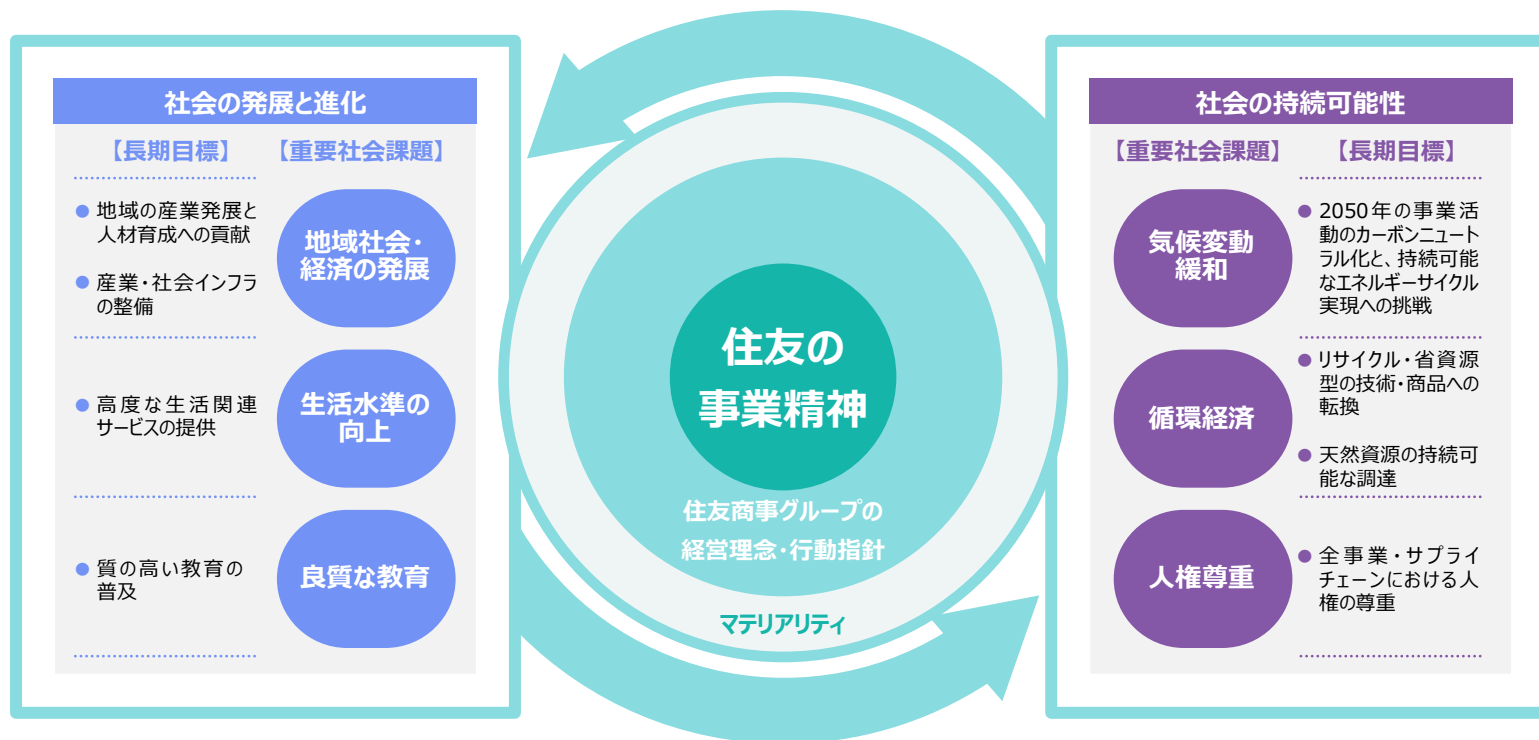
住友商事グループは、事業と社会との関わりを明確にするため、2017年にマテリアリティを特定し、一つ一つの事業が社会の抱えるさまざまな課題の解決に貢献することを意識した経営を行ってまいりました。

2020年6月に定めた重要社会課題は、住友商事グループのサステナビリティ経営を一歩進め、自らの強みである人的リソースやビジネスノウハウ、グローバルなネットワークやビジネスリレーションを生かして、持続可能な社会の実現にどのような役割を果たすのかを、より明確にコミットするためのものです。

重要社会課題は、社会の発展の基礎であり、住友商事グループの事業活動の前提である「社会の持続可能性」と、持続可能な社会の実現に必要なソリューションを生み出す「社会の発展と進化」という、相互に関連する二つのテーマからなっています。

住友商事グループは、重要社会課題に対する中期目標ならびにKAI・KPI*を設定し各課題への取り組みを推進するとともに、その進捗を開示しています。

* KAI : Key Action Indicator KPI : Key Performance Indicator



- 総合社社の多様な人的リソース
- 多彩なビジネスノウハウ
- グローバルネットワーク
- 事業パートナーや取引先とのビジネスリレーション

6つの重要社会課題の設定と、サステナビリティ経営の高度化（2/2）

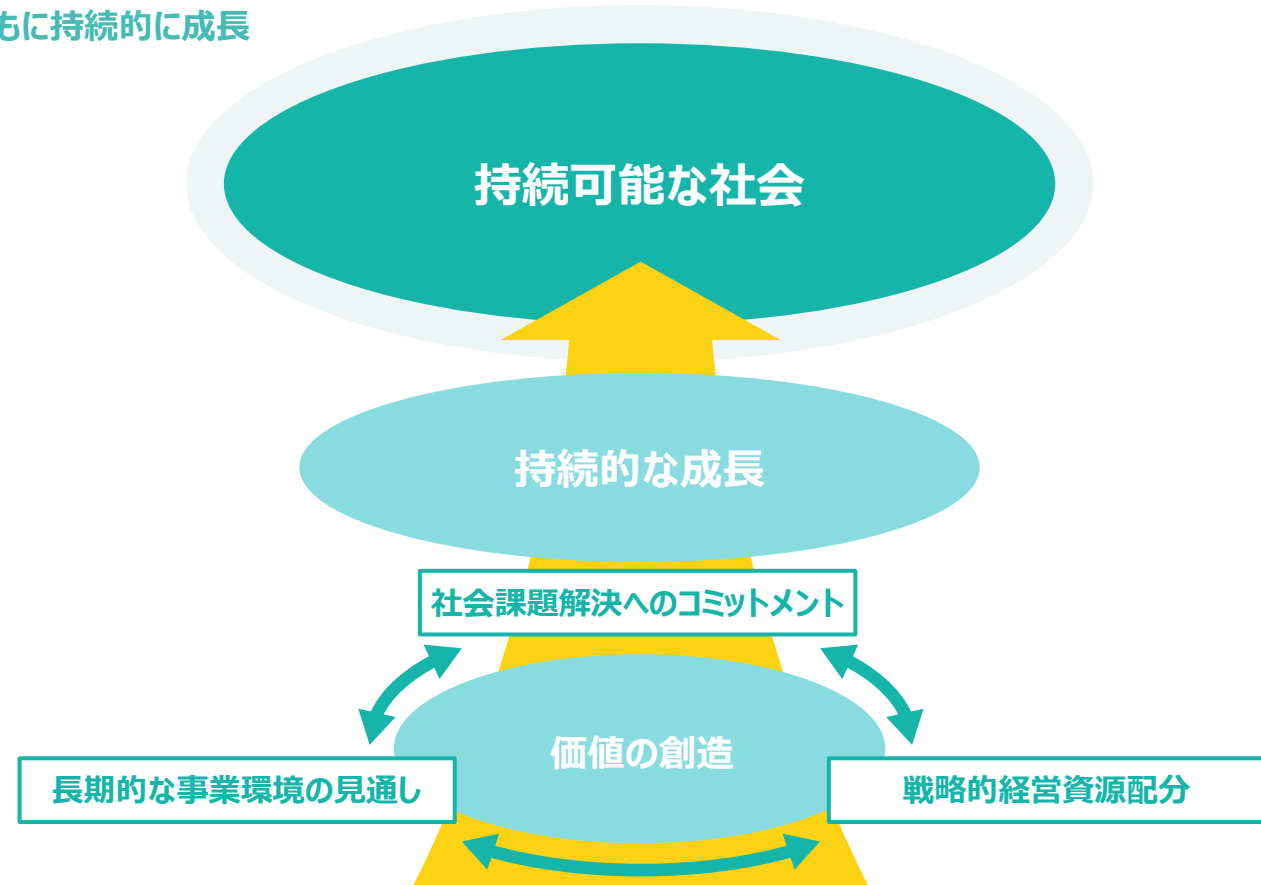
住友商事グループは、社会とともに持続的に成長するために、サステナビリティ経営の高度化の一環として、当社に関わりが深い6つの重要社会課題を選び、それにひも付く長期目標・中期目標を定めています。

住友商事グループの目指すサステナビリティ経営の高度化は、重要社会課題や目標の設定にとどまりません。

我々の社会が直面する課題の解決に向けて、住友商事グループの果たす役割を明確にコミットすることに加え、社会課題を巡る長期的な事業環境変化を見通して、戦略的に経営資源を配分し、社会が真に必要とする価値を創り出していきます。

持続可能な社会の実現と自らの持続的な成長がしっかりと重なった姿が住友商事グループのサステナビリティ経営です。

社会とともに持続的に成長





住友商事東北株式会社

本社 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目10番3号
(JMFビル仙台01 15F)

Tel.022-262-6232 /Fax. 022-267-0101

新潟営業所 〒950-0087 新潟市中央区東大通1丁目2番30号
(第3マルカビル 10F)

Tel.025-240-1171 / Fax.025-240-1180